

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

私は見た！ 日本とフィリピンの学校の違い

私はフィリピンのセブ島出身です。結婚して平成元年に日本に来て、初めて暮らし始めた場所が上尾でした。最初は、文化の違いに戸惑うこともありましたが、その中の一つがPTAや地域の活動です。私には二人の子どもがいます。子どもが小学生の時にPTA役員決めがありました。日本語を理解するのに時間がかかり、何を話しているのかも分からないまま参加し、よく分からないまま手を挙げていたら、役員に立候補してしまいました。その時は、なんで手を挙げたんだろうと後悔しましたが、そのおかげで、いろいろな事を学ぶことができました。

例えば、フィリピンにもPTA制度はありますが、日本のPTAは活動的で行事などが多いです。日本では、子どもの頃から学校で時間を守ることが大事と教わるからだと思います。また、ランドセルや上履きなどがみんな同じなので子どもたちは誰がお金持ちなのか普通は分かりません。

フィリピンでは持ち物で貧富の差が目立ちます。その他にも、小学校の通学班はフィリピンにはありません。地域の人が見てくれているので日本の治安はとても良いです。PTAや地域の活動に参加することで、学校で子どもがどんな風に過ごしているのかが分かりました。そこにはフィリピンと日本の違いを感じ、戸惑うこともありましたが、参加しなければこのような経験はできなかったと思います。そして私が他の役員と触れ合うことで子どもにも友達も増えたようです。皆さんの周りにも外国人市民で日本の生活に戸惑っている人がいるかもしれない。そんな人を見掛けたら声を掛けてみてください。

上尾地区
新保 グレース マリアさん



フィリピンの小学校



フィリピンの中学校



日本の通学風景

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

おいでください

■**児童虐待のない社会をめざして** 2月23日(祝)13:00~16:40、コミュニティセンター 定100人 費499円 申2月15日(火)までに 深沼☎090-9398-2808 **ひと言!** コロナ禍で多発する児童虐待!当事者の声に耳を傾けて。

いきいきサークル

●**平方囲碁同好会** 毎週(土)13:00~17:00、平方公民館 費月額500円 申鈴木☎726-1199(17:00まで) **ひと言!** アマ高段者三人の指導対局で棋力アップ効果は絶大です。

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



- ポストイン(絵手紙)** 毎週第4(木)10:00~12:00、大谷公民館 費月額750円 申長谷部☎775-8387(20:00まで) **ひと言!** 「ヘタでいい、ヘタがいい」を合言葉に楽しんでいます。
- ダンシング・チェリー** 毎月4回(木)14:00~15:30、市民体育館・上尾公民館など 定40歳以上 費月額3,000円(入会金1,000円) 申大竹☎725-6247 **ひと言!** 仲間と楽しくストレッチとダンス。中高年女性大歓迎。
- フレッシュ・ヨガ** 毎月2回(火)10:00~11:30、上尾公民館 費月額2,000円 申田崎☎775-3638 **ひと言!** フレイル予防に身体を動かしてみませんか。



定…定員 定…対象 費…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み



全中で試技する清水君
写真提供：アートグラフィー

昨年8月に行われた「第48回全日本中学校陸上競技選手権大会(全中)の男子走り高跳び決勝。東京2020オリンピックの同種目の決勝と同じ、優勝者が2人という結末が、ここでも待っていました。一人は新潟県代表の選手。そしてもう一人が、今回紹介する大石南中学3年生の清水情太郎君です。

清水君が陸上を始めたのは小学6年生の時。もともと体が弱く、何かスポーツをやらせたいと考えていた母に連れられて、「上尾ジュニア陸上クラブ」の体験会に参加したことがきっかけでした。「ある日朝起きたら、突然母に行きよと言われて、どこに行くか伝えられないまま連れて行かれました」と笑います。

しばらくは走ってばかりでつまらないと思っていたそうですが、2カ月後に監督の勧めで走り高跳びを始めてから気持ちが激変。以来、競技にのめり込んでいきました。

清水君が考える良い結果を出す秘訣はメンタル。心を「無」にし、高跳び以外のことは考えず、集中力を高めることだそうです。そのためにメンタルトレーニングの勉強もして、自分なりに工夫を凝らしてきました。大会に出て失敗したら何ができなかったのかを考えて、次につなげていく。「試行錯誤を繰り返して自分自

スポットライト

～人・仲間～



しみず じょうたろう
清水情太郎君
(小敷谷在住)

思いを実現する有言実行ハイジャンパー

第48回全日本中学校陸上競技選手権大会優勝

身の跳躍を削り上げていくところが高跳びの魅力と熱を帯びた表情で語ります。

大会前日は、雑音を入れたくないのでお気に入りの音楽をヘッドホンで聴きながら夕食。当日も朝から集中し、競技場に入ってからさらにスイッチを入れて本番に臨みます。全中の時は、このルーティンに加え、競技を楽しもうと考え、優勝をつかみ取りました。

中学校の部活を引退した現在も、平日は筋トレやジョギング、休日にはトラックを使った練習を続け汗を流しているそうです。休憩中は、過去の大会で知り合った他校の先輩と近況報告も行なっています。「先輩の背中を見て刺激を受け、多くのことを学んだので、感謝の気持ちしかないです」と振り返ります。「小学生の時、高跳びを始めて2カ月でしたが全国大会へ行くと言言し、中学でも全中やU16陸上競技大会の優勝を目標に掲げ、全て実現してきました。これまで自分を信じて頑張れば、何でも実現できると考えて有言実行してきたので、高校では高校記録を出してインターハイで優勝する。そして、今は自己ベストが1.97ですが、30年近く破られていない2.45の世界記録は、自分が破る」と思いを語ってくれました。

アイスクリームが大好きと照れる、どこにでもいそうな中学生ですが、「今まで結果を出してこられたのは、両親、顧問や強化スタッフの先生、応援してくれた人のおかげ、感謝しています」と語る15歳の進む先には、どんな未来が待っているのでしょうか。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は1月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・FAX776-8873 ※内容は一部要約しています。



まちかど特派員だより

- 上尾中央総合病院が、コロナの感染者を多く受け入れていたことを知りました。医療従事者の苦労を痛感しました。(80代・男性)
- 上尾中央総合病院がダイヤモンドプリンセス号の患者も受け入れていたと初めて知りびっくりしました。(90代・女性)

新型コロナウイルスの感染が拡大しています。手洗いや消毒など感染予防を徹底しましょう。



特集 ここがイチ押し！

- 知らない情報が多く、特に午睡用のベッドはいいと思います。ちょっとしたことかもしれませんが、子どもを預ける親にとっては嬉しいものです。(60代・女性)
- 子ども家庭総合支援センターや複合施設の開設予定を知って、ママ友同士で話題にしました。複合施設の完成が楽しみです。(30代・女性)

これからもさまざまな取り組みで子育て世帯をサポートします。



「広報あげお」は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。